

アミール・ツアルファティ氏 ジャパンツアー 2017年7月8日講演

熊本・オリーブミルクロード教会

「神のあわれみ・イエス・キリストによる救い」

<https://youtu.be/zY6MBPnUGko>

.....

ありがとうございます。今日の午後、ここに居られることをとても嬉しく思います。過去に私のメッセージやバイブルスタディーを、オンラインでご覧になった事のある方はどのくらいおられますか？日本語字幕が付いているから見られるという方は？もし、翻訳がなければ、皆さんは殆どご覧になられていないですね。（言波さんに向かって）ありがとうございます。（笑）（拍手）

数週間前に、神は私に「全世界に向けてメッセージを語るように」と語られました。メッセージはいろいろな言語に翻訳されるべきだということ、しかし、一つ条件があります。それぞれの国が、それぞれの国の責任で、それぞれの国の言語に翻訳されるように、それぞれの方が確認してください。（言波さんに向かって）日本語に翻訳してくださっている方がいることをとても嬉しく思っています。（拍手）全てのメッセージを日本語に翻訳することを今、計画中です。

今、私たちは本当に最後の日、最後の時間に生きています。しるしは至るところに見られます。しるしを見て、メッセージを理解することは恥ずかしい事ではありません。2,000年前に弟子たちがイエスに尋ねました。「終わりの時のしるしはどういったものですか？」言い換えれば、2,000年前に、彼らは既に知っていたのです。この世には、終わりがあるということです。ところで、クリスチャンであろうとなかろうと、この世に住んでいる人々は、その方向に向かっていているということを感じているはずで、将来の事を知りたいという心は、私たち一人一人に与えられています。だから、何百万という言う占いがあるわけですね。需要と供給の関係ですね。需要が多ければ供給があるのです。神は私たちに問われています。私たちも神を試すことが出来ます。主がこれから行うとおっしゃっていることを、主が実際にされるかどうか、ということ。私たちの信仰が、他のどの信仰とも違うところは、この聖書の中には、30%近くが将来について書かれています。そういった信仰は他にはありません。他の宗教にもありません。皆は「良い人でありなさい」「良い行いをしましょう」と言います。この人は良い人、この人は良い行いをした、と。

しかし私たちの神は、まだ起こっていないことを私たちに教えてくださいました。それについて神は、私たちがそのことを語ることをちっとも恥ずかしいとは思っておられません。2,000年前に、イエスに従っていた人々は、イエスに尋ねました。

「先生、終わりの時のしるしとはどんなものですか？」

イエスはその事について怒ったり、叱ったりはなさいませんでした。イエスはお座りになられて、全てを語られました。イエスは、過去の預言と決して矛盾することがありませんでした。それは、イエスは神の御言葉だからです。あなたが神の御言葉ならば、神の御言葉に相反することは出来ません。あなたが言うこと全てが、神の御言葉だからです。神の御言葉は、旧約、新約両方に書かれていて、それで一つの聖書です。あなたの聖書が、もし新約聖書だけならば、半額だったらいいのですが。それは、聖書の半分だけだからです。イエスは新約聖書からは説教されませんでした。そこから引用されることもありませんでした。イエスが語った全ての教えは、すでに預言者たちによって伝えられたことが土台とな

っています。だから、イエスが「これから起こる」と言われたことは、以前に預言者が言っていない事を言ったのではありませんでした。その当時の人々が理解できなかったことを、イエスは説明されたのです。信じがたい事ですが、熊本は聖書の中にあります。その名前ではありませんが、地面が揺れている、という事実が、先ほどお話しした産みの苦しみということで、何一つ、目新しいところはありません。

昨日、私は、熊本の大きな商店街を歩いておりました。人々の心が、とてもオープンでした。私は9.11のツインタワーのテロがあった時に、ニューヨークに滞在していました。テロの前夜、私はツインタワーに行き、連れて行ってくださった牧師先生に尋ねました。

「もし、何かがこのビルに当たったら、これは右に倒れるんですか？それとも左？」

周辺には本当にたくさんのビルが立ち並んでいますし、これが倒れるとなると、それらが将棋倒しのようになってしまうと思ったんです。すると、牧師先生は不思議そうに私を見つめ、

「面白いですね。」

と言いました。ちょうどそのことについて聞いて、

「この建物は、何か大きな衝撃があった時には、それぞれの柱がバラバラになって、積み上げられたトランプのように下に崩れ落ちるように設計されていて、だから、周辺のビルには一切ダメージを与えることがないそうです。」

これが、2011年9月10日の夜の会話でした。

次の朝、私は目覚めてから、教会のスタッフたちに短いメッセージをしていた時に、飛行機がビルに突っ込み、ビルはバラバラに崩れ落ちました。

次の週、皆、だれもが教会に駆け込みました。

「これから何が起こるんだ？」

「もう、終わりが近いのか？」

「神はどこにいるのか？」

突然、だれもが神様の事を考え始めました。

「これは、神の裁きがアメリカに下ったのか？」

私はずっと言ってきました。私は軍属で、それなりのコネクションがありましたので、その日に、もともと計画されていたことは実際に起こった事の10倍ほど、もっと酷い計画だったことを知っていました。大統領が乗っていた飛行機が撃墜されるように、ホワイトハウスが攻撃されるように、サンフランシスコ、ロサンゼルス、サンディエゴも攻撃されるように、ニューヨークの他の地域も生物兵器攻撃されるように、という予定だったのです。その日起こり得た死者数は、50万人以上は軽く超えるものでした。実際にその日のテロで亡くなられた方は4分の1以下でした。これは神の裁きではありません。これは神のあわれみです。

私が言いたいのは、時々、神は事が起こることを許可されます。それは神によって整えられたのではなく、それは人間の中の純粋な悪によって起こるのです。しかし残念なことに、全ての人々が理解できる言語というのは、痛みです。それぞれが愛について、幸せについてのそれぞれの解釈をします。しかし痛みだけは、全ての人々が同じように感じる言語なのです。2001年のその時は、テロによって飛行機が飛ばなかったのが、私は滞在期間を10日延長しました。何千人もの人が主を受け入れて、終わりが近いことを理解し、主とともに歩き始めました。そして、昨年、ニューヨークにまた行ってきました。

昨年、この地（熊本）を襲った地震は、何百倍にもひどくなっていた可能性もあります。昨日、商店街を歩いていた時に、どれだけ人々は早く忘れてしまうかを考えていました。そして、何かが起こったときに人々はどれだけ早く神のところに駆け込むかということも。神は、この町にご計画を持っておられます。神は、この国にご計画を持っておられます。神は、日本の人々に飢え渴きを与えておられます。神の御言葉を知りたい、という飢え渴きです。これは、終わりの時のもう一つのしるしです。どうか皆さん、神があなたの人生の中で始められたことを手放したり、忘れてしまうことがないようにしてください。

- 18 **今の時のいろいろの苦しきは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足らないものと私は考えます。**
- 19 **被造物も、切実な思いで神の子どもたちの表れを待ち望んでいるのです。**
- 20 **それは、被造物が虚無に服したのが自分の意志ではなく、服従させた方によるのであって、望みがあるからです。**
- 21 **被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます。**
- 22 **私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。**
- 23 **そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にしてくださいこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。**
- 24 **私たちは、この望みによって救われているのです。目に見える望みは、望みではありません。だれでも目で見ていることを、どうしてさらに望むでしょう。**
- 25 **もしまだ見ていないものを望んでいるのなら、私たちは、忍耐をもって熱心に待ちます。**

（ローマ人への手紙 8:18~25）

これは、パウロがローマの人々に送った手紙です。パウロがこの手紙を書いた時には、ギリシャのコリントにいました。そこにいる人々は、ユダヤ人ではなく、ほとんどが異邦人だったことも承知して書きました。パウロはここで、旧約聖書からは一つも引用していない事に注目してください。彼は、被造物について語り、母なる大地について語り、母なる惑星について語っています。それは今、世界中がひざまずいているものです。創造主を礼拝することなく、その代わりに被造物を礼拝しています。パリ協定での調停は、3兆ドル、0.003%気温を1℃下げるためにそれだけの費用をかけるということに調印させようとしています。その、0.003%のために大枚をつぎ込むとは、何と馬鹿げたことでしょうか！すべての被造物が、神の御子の現れを待ち望んでいるという時に、です。この世界が必要としているのはイエス・キリストです。けっしてパリ協定ではありません。皆さんにお伝えしたいことがあります。もし、世界中を1℃、まるまる下げたとしても、それは何のたすけにもなりません。彼らの何がしかの言い訳を見つけるたびに、何らかの形で人間が全てを創り出し、全てをコントロールしていると言い、そのことによって神を外に締め出しているのです。そして、国連を内側に取り込んでいるのです。「そうすることによって、全てを私たちは修復することができる」と。国連は、熊本の地震を修復することはできません。2011年の東北の津波も、1995年の神戸の地震も修復することはできないのです。国連は、何の助けもできなかったのです。確実に、0.003%の違いは何ももたらさないのです。ローマ書 8:23 をご覧ください

さい。

23 **そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にしてくださいこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。**

(ローマ 8:23)

「私たちのからだの贖われること」とはどういうことでしょうか？つまりそれは、聞いていてくださいよ！しっかりつかまって！私たちのからだの贖いというのは、魂とか霊とかの問題ではなく、私たちの体に関することです。つまりそれは、私たち全てが切実に熱望していることです。物質的に、肉体的に、ここから脱出することです！

「ちょっと待ってよ。何かおかしいことを言ってる…」

「ついていけないわ…」

私の聖書によれば、私の神が言われるのです。主がこの地を離れられた時、主は

「わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。助け主である聖霊を与えます。」

と言われました（ヨハネ 14:18、14:26 参照）。それから、

「わたしは場所を備えに行く」

とも言われました。それから主は、

「また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです」

と言われました（ヨハネ 14:3 参照）。コロサイ人への手紙 3 章 1~3 をご覧ください。

- 1 **こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。**
- 2 **あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。**
- 3 **あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神の内に隠されてあるからです。**

(コロサイ 3:1~3)

さて、今イエスはどこにおられますか？御父の右に座しておられます。イエスはどこに私たちを連れて行かれるのでしょうか？主がおられる所に、です。ということは、私たちが持っている希望は、国連が気温を修復することではありません。私たちの望みは、国連が中東の平和を達成することではありません。私たちの望みは、北朝鮮の指導者を替える事でもありません。信じてください。誰かが退けば、更に悪いものが出て来ます。アルカイダを排除したと思えば、出て来たのは ISIS でした。彼らをまた排除したとしても、もっと極悪な者がまた出て来ます。それが人間の本質です。私たちの望みは、私たちが心から待ち望んでいるものは、この、今の地球を修復することではありません。ここを脱出することです。この世界に、やりたいように修復させるために、そして時期が来ればイエスはここに戻って来られ、私

たちもイエスとともに戻ってきます。

とても面白いことに、ローマ書8章では、この地球上の被造物がどれだけ主の戻って来られるのを待ち望んでいるのかを見ました。そして9章では、パウロが異邦人に、パウロの母国イスラエルについて語っています。言い換えれば、世界中の将来がイスラエルと大きく関わっている、ということです。パウロは、ローマ書9章の中で説明しています。10章では問題について語っています。

- 1 私はキリストにあって真実を言い、偽りを言いません。次のことは、私の良心も、聖霊によってあかししています。
- 2 私には大きな悲しみがあり、私の心には絶えず痛みがあります。
- 3 もしできることなら、私の同胞、肉による同国人のために、この私がキリストから引き離されて、のろわれた者となることさえ願いたいのです。

(ローマ9:1~3)

「my brothers」は日本語で何て言いますか？

「同胞」ドウホウですか。そこを丸く囲っておいてください。

- 4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。
- 5 父祖たちも彼らのものです。またキリストも、人としては彼らから出られたのです。このキリストは万物の上にあり、とこしえにほめたたえられる神です。アーメン。

(ローマ9:4~5)

そして、30~32節に行きます。

- 30 では、どういうことになりますか。義を追い求めなかった異邦人は義を得ました。すなわち、信仰による義です。
- 31 しかし、イスラエルは、義の律法を追い求めながら、その律法に到達しませんでした。
- 32 なぜでしょうか。信仰によって追い求めることをしないで、行いによるかのように追い求めたからです。彼らは、つまずきの石につまずいたのです。

(ローマ9:30~32)

つまりパウロは、8章の中で全ての地上のものがどれほど神の御子の来られるのを待ち望んでいるかということをお伝えしました。それから彼は、私たちクリスチャンたちがこの地から取り除かれることをどれほど待ち望んでいるかについて言及しました。そして彼は、イスラエルが神の選びの民であることをお伝えしています。彼らは、主の御心にとっても重く掲げられています。しかし、パウロが言っているのは、イスラエルの人々は良いこと、良い行いによって救われると信じているということです。もし、ここにいらっしゃる方の中で、あなたが良い人だと思っていられるのなら、そして、全ての良い行いをしているから、神はあなたの事を愛していると思っておられるのなら、私は悪いニュースをお知らせしましょう。詩篇14篇2~3節をご覧ください。

- 2 **主は天から人の子らを見おろして、神を尋ね求める、悟りのある者がいるかどうかをご覧になった。**
3 **彼らはみな、離れて行き、だれもかれも腐り果てている。善を行う者はいない。ひとりもない。**
(詩篇 14:2~3)

それから、詩篇 53 篇。

- 3 **彼らはみな、そむき去り、だれもかれも腐り果てている。善を行う者はいない。ひとりもない。**
4 **不法を行う者らは知らないのか。彼らはパンを食らうように、わたしの民を食らい、神を呼び求めようとはしない。**
(詩篇 53:3~4)

ですから、もし皆さんが「自分は良い人」善人だと思っているのなら、大事な事を一つ忘れてしています。聖書には、私たちは生まれながらにして罪人だと言っています。ダビデ王でさえ、詩篇 51 篇で、預言者ナタンにこう言っています。彼は自分の身に起こった事に関して、実に明確に語っています。

- 7 **ヒソブをもって私の罪を除いてきよめてください。そうすれば、私はきよくなりましょう。私を洗ってください。そうすれば、私は雪よりも白くなりましょう。**
(詩篇 51:7)

世界に罪が入り込みました。それ以来、私たちは罪を受け継いでいます。罪が、世に、死をもたらしました。そして、罪が全ての被造物に破滅をもたらしました。私たちは、良い行いをすることによって、良い人間になることはできません。神は、「自分は罪深い人間だ」と悟る者を探しておられます。そして、その罪から悔い改める者を探しておられます。そして、私たちの罪の贖いをされた方を信じる者を探しておられます。その方は、ご自身の命を贖いとして差し出されました。まず、イスラエルが、国としてすべき事は悔い改めです。そして、彼らにはメシアが必要だということを認識することです。彼ら自身ではなく、メシアに信頼を置くことです。そうすれば、彼らは救われます。

さて、ローマ 8 章ではすべての被造物について、9 章ではイスラエルの抱える問題を、10 章ではパウロの心の中のイスラエルの同胞が救われることを願っていることと祈りについて、書かれていました。これが神の御心です。イスラエルはイエスを拒絶しましたが、神は今も、彼らが信じることを望んでおられます。皆さんの口の中に息がある限り、神は、皆さんが考え方を変えることを望んでおられるのです。皆さんにはまだ、チャンスがあります。しかし、一つ問題があります。とても小さな問題です。すごく小さい！「小っちゃい？」(笑)皆さんの世代は、もう既に終わりに来ています。もう、時間がなくなって来ています。もし、2,000 年前に生きていたとしたら、私はたぶん、「あと 2,000 年は考える時間がある」と言ったでしょう。本当に最後の最後の時間に差し掛かっています。私たちが主のもとに集められる時はいつでも起こり得るのです。イエスが弟子たちに言われた、あらゆるしるしの全てが、世界においても、特にイスラエルにおいても、既に成就されました！戦争と戦争のうわさ、地震、疫病、飢

餓。それから、いちじくの木のとえから学びなさいと言われました。ホセア書、ヨエル書の中にある、「いちじくの木」とはイスラエルの象徴です。イエスは言われました。

32 **いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかくなって、葉が出てくると、夏の近いことがわかります。**

33 **そのように、これらのことのすべてを見たら、あなたがたは、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。**

(マタイ 24:32~33)

28 **これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにし、頭を上を上げなさい。贖いが近づいたのです。**

(ルカ 21:28)

この体からの贖いです。イスラエルは彼らの地に戻りました。イスラエルは今、とても安全で安心しています。神は、イスラエルの肉体的な復活をすでに成就されました。いちじくの葉は芽吹いています。これが終わりの時です。私たちは目を上げ、頭を上げて、私たちの贖いが近いことを知って、天を見上げるべきです。いつ、なんどき、分刻みでも、私たちがここにいるのは、私たちがここを出る前、この中のどなたかが、まだ決めていらっしやらないからです。主は、長い忍耐をもって待っておられます。誰一人として、滅びることを望んでおられないからです。全ての人イエスによって永遠の命に至るためです。しかし「ちっちゃい」問題があります（笑）主は、永遠には待っておられません。神は地震を起こされ、津波を起こされました。金正恩？戦争や戦争のうわさもあります。イスラエルはかの地に戻り、今までになかった程に安全で繁栄しています。世界が説明できないほどの奇跡です。時間が迫っています。

神のご計画がどれだけ詳細か、ということをお話しします。皆さんに知っておいていただきたいのは、神は、神のイスラエルに対する心を理解する人々を探しておられます。ローマ 10:1~4

1 **兄弟たち。私が心の望みとし、また彼らのために神に願い求めているのは、彼らの救われることです。**

2 **私は、彼らが神に対して熱心であることをあかしします。しかし、その熱心は知識に基づくものではありません。**

3 **というのは、彼らは神の義を知らず、自分自身の義を立てようとして、神の義に従わなかったからです。**

4 **キリストが律法を終わらせられたので、信じる人はみな義と認められるのです。**

(ローマ 10:1~4)

救われるために信じるのは、何も難しい事ではありません。ローマ 10:9~10

9 **なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。**

10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

(ローマ 10:9~10)

27年前、6月か7月、私は自分の命を絶ちたいと思いました。この世に全く希望がなかったのです。それぞれがそれぞれの宗教を持っていて、だれも神の事を知らない。全ておカネ、名誉、エゴ、人は全く変わっていない。私は自分の周りを見渡し、被造物だけでなく、私自身もここを去ることを待ち望んでいました。外見的には普通でした。学校にも行っていましたが、クラスの上位にもいました。完璧でした！見かけももっと良かったんです！（笑）今より20kgは痩せていました！（笑）私の人生の中で全てが完璧に見えました。でも、何もいいことはありませんでした。わたしの目から見たら、世は何も良いものを差し出せるようには思えませんでした。毎日仕事に行って、家に帰って、子どもがいて、毎日毎日働いて、そしてどうなるのか。そして、私が死んだら、埋葬されて、そしてまた、働き続ける。この時代は仕事が神になってしまっている。お金を稼ぎたいために。これが全てか！と私は思いました。私はこの世に、タイムカードを押すために来たのか？（笑）私はそうは思いませんでした。今でも覚えています、綿密に計画を立てて自殺しようと思っていました。そして、決行しようとしたある夜、全身に悪寒がして、——自殺決行しようとする人は、皆がそう感じるようですが——私は「世界に、もう一日チャンスを上げよう！」と言いました。（笑）そして、翌朝目覚めて、仕事に行って、学校に行きました。そして、私の親友が

「期末試験の勉強を一緒にしよう。」

と言ってきました。そして、彼の家に招かれて行きました。家に入り、座って、お昼ご飯を頂こうと思いました。突然、皆が手を繋いで、目を閉じて、その家の人々が祈り始めました。私は周りを見渡しました。何も祈り書とか持っていないのです。まるで、神が親友であるかのように、神に語りかけているんです！彼は神に、一日の事、食べ物のこと、家族の事を感謝し、そこにいた私の事まで神に感謝してくれたのです！私はすっかり食欲をなくし、（笑）そして、彼らは魔法の言葉を言ったのです！

「イエシュア（イエス）の御名において。アーメン。」

そして皆がゴハンを食べ始めるのです！私は一体どうなってんだ！と思いました！まるで手りゅう弾を投げつけられて、去って行ったみたいでした！何が起こったんだ!? 何をそんな風に祈れるんだ？ 祈りの書はどこにあるんだ？ いつから神は十分でなくなったからイエスの御名によって祈らなくなはいけなくなったのか？ そして、私が質問すると、彼らは喜んで教えてくれました。そこで彼らはイエスについて語り始めて、私は

「…分かった…」（笑）

右の耳から左の耳へ受け流しました（笑）それがとても美しい信仰であると、私も知っていました。それは真実だと感じました。でも、彼らが言った事を何一つ理解できなかったのです。それで、私は100億ドルの質問をしました！

「どうして、イエスの御名によって祈るの？」

一人の女性が言いました。

「神様に、イエスとは誰なのか、祈ってみたらいいわ」

本を読むのはとても簡単です。人に何か質問したり、マラソンを走るのも。世界の人々にとって、祈ることはとても簡単な事なのに、一番難しい事になっています。私はとても神経質になって、「神に尋ねる

ってどういうことなの？」

神に聞きなさい？（頭をかきながら）どうすればいいんだ？ 私は紙を取り出して、祈りの文言を書きました。

「親愛なる神様、

イエスとは誰なのか教えてください」

それを壁に貼り付けて、ひざまずいて、それを読み上げました。アーメン！（笑）

眠りについて、朝目覚めて、仕事に行きました。私は12歳の時から働いています。私の一つの仕事は、食料品店で働くことでした。乳製品を冷蔵庫の中に入れる作業をしました。ちょっとだけ牛乳を飲みながら（笑）。パンを棚に並べました。ちょこっとちぎって食べながら（笑）。新聞が届いて、陳列しました。朝の5:30、私が朝一番に新聞を読めました（笑）。チョコレートミルクを飲んで、新鮮なパンを食べ、誰よりも早く新聞を読みました。とても素敵な人生でした！新聞を広げて、ショックを受けました。そこには「JESUS」と書かれていました！もう、すぐに新聞を閉じました！私は頭がおかしくなったと思いました！ちょうど前の晩に「神様、イエスとは誰なのか教えてください」と祈りました。神は直ちに働いてくださったのです！主は誰かを送って、新聞紙面に大急ぎで「JESUS」と印刷して、私が新聞を開いたら、ヘブル語でイエシュアと書かれていたのです。それを読んでみると、映画の宣伝——キャンパス・クルセード・フォー・クライストの「ジーザス」という映画でした。どこで上映されていたのかというと、エルサレムの普通の映画館でした。私はまるで映画スター、セレブのような気分になりました。全ての映画が私のために作られたんです！（笑）その夜、その映画を観に行きました。その映画の内容は、「ルカの福音書」でした。その映画で、イエスの生涯が、全て前もって語られた預言だったということを知りました。私はユダヤ人なので、新約聖書を読んだことがありませんでした。でも、旧約聖書は知っていました。そして、預言の書も知っていました。私は映画を見ながら、そこから出てくる聖句が、旧約聖書の預言者の言葉だったことを理解しました。そして、映画の中で語られたイエスの全ての生涯、全ての行いが、700～800年前にすでに語られていた旧約聖書の預言の言葉の成就だったのです。イエスが私のために、十字架の上で死なれました。そして、3日目によみがえられました。ところで、私はエルサレムから来ました。イエスの墓は、空っぽでした。とりあえず、言っておきます（笑）。映画の終わりに、祈り、イエスを心に受け入れるチャンスを与えられました。とても簡単な祈りです。祈った時、神の平安が、私の理解を遥かに超えて、私の心に訪れました。私は家に帰り、家族に

「みんな、罪人だ!!!」

と言いました（笑）

「僕は真実を知っている！預言者イザヤがこう言ったんだ！エレミヤもこう言ったんだ！預言者ゼカリヤもこう言ったんだ！」

私は、旧約聖書の中で、預言者たちがイエスをどのように説明していて、イエスについての預言がどのように成就されたのかを、皆に話しました。神は、灰を美しいものに変えられました。神は私に、死ぬことではなく、生きたいという望みを与えてくださいました。

- 19 私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とどのろいを、あなたの前に置く。あなたはいのちを選びなさい。あなたもあなたの子孫も生き、
- 20 あなたの神、主を愛し、御声に聞き従い、主にすがるためだ。確かに主はあなたのいのちであり、

あなたは主が、あなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた地で、長く生きて住む。

(申命記 30:19~20)

「いのちを選びなさい」と主は言われました。皆さんの選択です。私は、イエスがいのちであり、真実であり、道である、と信じました。皆さん、いのちがほしいですか？皆さん、真理を知りたいですか？皆さん、道を知りたいですか？たった一つの祈りで、主に届くことができます。頭から、心まで、ほんの数センチ。私が気付いたのは、神は、私にただいのちを与えてくださっただけでなく、ミッションを与えてくださいました。すべき仕事を与えてくださいました。人々に、主について教えることです。詩篇 51 篇で、ダビデはこう語っています。

- 11 **私をあなたの御前から、投げ捨てず、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。あなたの聖霊を、私から取り去らないでください。**
- 12 **あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。**
- 13 **私は、そむく者たちに、あなたの道を教えましょう。そうすれば、罪人は、あなたのもとに帰りましょう。**
- 14 **神よ。私の救いの神よ。血の罪から私を救い出してください。そうすれば、私の舌は、あなたの義を、高らかに歌いましょう。**
- 15 **主よ。私のくちびるを開いてください。そうすれば、私の口は、あなたの誉れを告げるでしょう。**

(詩篇 51:11~15)

13 節で、「私は、そむく者たちに、あなたの道を教えましょう。そうすれば、罪人は、あなたのもとに帰りましょう。」と言われました。明日 (2017年7月9日)、神のご計画の中で、次に何が来るのかを学びます。神のご計画のタイムラインの中で、私たちがどこに位置しているのかを学んでいきます。そして、次に何が来るのかを学びます。これは、信じる者たちには、希望に満ちたメッセージです。聖書預言は、怖がらせるためのものではなく、備えさせるためのものだからです。でも、もしあなたに備えが出来ていないのなら、それはとても恐ろしいはずですが、私がここに座った時、全く違うメッセージを用意していました。(言波さんに向かって) わかるでしょ？ (笑)

【言波さん】: ハイ (笑)

彼女は全く違うメッセージを準備していました (笑) 私は最初、マタイ 25 章 31~46 節を用意していました。神の御子が戻って来られた時に、王座に座られて、羊と山羊を分けられるという箇所です。何故だかわかりませんが、ここに立った瞬間に、神は何らかの形で、私に働きかけられました。今、私たちのいるこの時代を理解して、イエスに従う決断をすることをシンプルに語るようにと、語られたのです。それはどうしてかという、ここに座っておられるお一人お一人を、神は愛しておられるからです。恐らく、主は、イエスに従っていない人が誰であるかも知っておられます。もし、それがあなたなら、もうそれがご自分でお分りでしょう、もしご自分に正直であるなら、この機会を逃したくはないでしょう。

あなたの主として、救い主として、イエスを受け入れるチャンスを逃したくないはずで、主は皆さんに平安を与えます。私たちの理解のすべてを超えた平安を与えます。世があなたに与える事の出来ない平安です。真実に至る道を見せてくださいます。そして、あなたにいのちを与えてくださいます。イエスは「わたしは、よみがえりです。いのちです。」(ヨハネ 11:25) と言われました。イエスはよみがえりであり、いのちです。よみがえりといのちというのは、コロサイ人への手紙 2章 13~14節

- 13 **あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだものであったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、**
14 **いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちが責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。**

(コロサイ 2:13~14)

だから、主はよみがえりなのです。主は、私たちが死んだ生活からよみがえらせてくださいました。そして主は、皆さんにいのちを豊かに与えたいと願っておられます。主は、皆さんの重荷を、皆さんの肩から取り除きたいと思っておられます。そして、担いやすい、主の荷を皆さんに与えたいと願っておられるのです。罪を犯さなかった方が、罪となられ、私たちはイエス・キリストにおいて神の御前で義と認められるものとなりました。

祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。

あなたが愛であられることに感謝します。神は愛です。

お父様、私たちが誰一人として、愛することを強制することができないということを知っています。愛は選択です。そして、あなたは、私たちがいのちを選ぶことを望んでおられます。私たちが、ロボットのようにあなたを愛するという事は望んでおられないからです。同じように、あなたも私たちが自動的に愛されたのではなく、私たちを選んで愛してくださいました。あなたが先に、私たちを愛してくださいました。だから、私たちもあなたを愛します。私たちが罪の中に死んでいました。私たちがあなたのことを知りませんでした。そして、あなたに何の栄光をお返しすることもできませんでした。それでもあなたはこの世に来られ、人としてお生まれになりました。それは、あなたがわたしたちのことを理解しているということを知らせるためでした。あなたは、私たちが遭遇する試練を知らないという大祭司ではありません。お父様、ありがとうございます。今日の午後、救いの午後となりました。今日、この中でまだあなたに従っていない人、それでいてこのメッセージを聞いた人に、あなたが触れられますように。この教会に感謝します。熊本市をありがとうございます。この日本という国をありがとうございます。一億人以上いる、日本の人々をありがとうございます。この中の99%は、あなたを知りません。今日、私たちは宣言します。イエスは、日本の主であります。私たちは宣言します。私たちは古い生活に戻ることなく、あなたの御業に励むことを宣言します。そして、人々に希望のメッセージを与えます。そして、今のこの時、この季節の緊迫性を人々に伝えます。今日、ここにおられるお一人お一人を、あなたの大使としてください。大きなメノラー（燭台）は、その光を隠すことができません。この地の塩

となりますように。人々が、その味を知り、いのちの意味を知りますように。お父様、ありがとうございます。どうか、私たちが、人生を通してあなたに栄光を帰すことができますように。そして、あなたが私たちに会った時、私たちが天におられる御父に栄光を表すことができますように。あなたを祝福し、感謝します。王の王、主の主、神の小羊として来られた、今は大祭司として神の右の座におられる、ユダの獅子としてこの世に来られる、王としてこの地を支配される、私たちとともにおられる、イエス様の御名を通して、お祈りします。全ての神の民は言います。

アーメン。
